



地 区 社 協 と は (1)

社協とは、社会福祉協議会の略称です。そして、地区とは、中里北部地区等のことです。この社協は、昭和26年に民間の社会福祉活動の強化を図るため全国、都道府県レベルで誕生しました。そして、ほどなく市区町村へ組織を拡大しました。その後、緑区（分区前）社会福祉協議会は、連合町内会・自治会を単位にして、地区社会福祉協議会を結成しました。これが現在の「中里北部地区社会福祉協議会」で、通称「地区社協」と言っております。

ですから地区社協というのは、一番身近にある社会福祉協議会です。

◎ 地区社協の構成・組織は

中里北部地区社協は、中里北部地区（寺家町・鴨志田町・成合町・たちばな台一丁目・同二丁目）に暮らす住民の皆さんや、この地区に関係する諸団体（社会福祉・保健・医療・教育等その他さまざまな団体や専門家・機関）の会員か、代表者をもって構成しております。地区社協は、地域の福祉活動の基盤をなし、広く住民の皆さん等の参加を得て組織化するもので、地区社協は住民の自覚的・自主的な活動がその基礎となります。それは、「自分達の地域の福祉課題は、まず自分達自身で取り組もう」という住民意識がその出発点に有るということで、この様な意識のもと地域の福祉問題解決のため組織されているのが地区社会福祉協議会です。

◎ 地区社協の目的は

中里北部地区のさまざまな福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、皆で考え、話し合い、協力して行動し解決を図ることを目的としています。そしてその活動を通して、心ふれあう「福祉のまちづくり」を目指しています。

◎ 地区社協の事業は

現在は、「すこやかお食事会」「ふれあい中里北部」「健康ひろば」等を行っていますが、福祉問題についてはまだまだ取り組まなくてはならないことが山積みしております。目的達成のためには、何をしたら良いか、何が先か等、考え、話し合って、皆さんと一緒にやって行きたいと思えます。

（以下次号）



行事に参加して

グリーンヒル鶴志田西岡地

臼井 寿子

体調を崩し娘の住む当地区に来て5年になります。緑の多い空気の綺麗な所に幸せを感じております。

民生委員さん、ボランティアの方の心暖まる行事に度々参加させていただいております。「楽しいお茶会食事会」では、ボランティアの皆様が作ってくださった四季折々の心のこもったお料理を、おいしくいただいております。

その中には、自分でも出来るかなと思われるお料理が有り、取り組んでみますがなかなかうまくできず、皆様のご苦勞を痛感致します。お食事の後「輪投げ」をグループで競ったり、昔覚



えた「小学唱歌、なつかしい歌」を合唱して、若い気分になり色々な場面を思い出します。出席してお顔馴染みの方も出来て、話に花を咲かせる事も多くなり、「今日は楽しかったわ」と嬉しく思い、度々参加させていただいております。



とにかく家に閉じこもりがちな毎日ですので、皆様に感謝しつつ、会が催される日を楽しみにしている今日この頃です。

集めています今後とも協力下さい

☆ お近くの民生委員まで (沢山集まりました。今後お願い致します)

◎ 古切手

封筒(葉書)ごと切手の周囲を5ミ位残して切り取ってお持ち下さい。

障害者施設の鎌倉清和学園に届けて役立ててもらっています。

◎ 使用済みテレホンカード

”サークルババギア”を通して、フィリッピン・インドネシアの少数民族のために役立てることになっています。

車いす体験に参加して



鴨志田町 市村 美智子

私はその案内を、普段はめったに見ることのない回覧板で知りました。

車いすは、一日だけお手伝いで押したことがあったのですが、今回は自分が乗る側にもなれるということで、当日を楽しみにしていました。



さて、実際乗ってみると、目線が低くなりスーパーでは上の棚のものは自分では届きませんでした。

それから、ごく平らに見える道でも車いすで通ると少し揺れます。

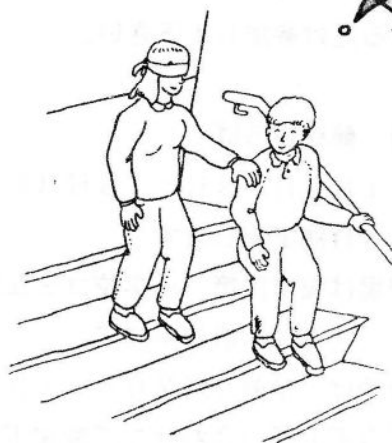
私が車いすを押した時もハンドグリップを握った手にがたがたと振動が伝わってきて、それを押えようと力が入りました。



このほか、アイマスクをつけての視覚障害体験とその誘導法も行ったのですが、そのあとのお茶会で参加した方の意見を聞くことが出来たのも、ともに貴重な体験となりました。

「（障害があるのは）気の毒だ、だから何か力になれることがあったらしたい」という声が多く聞かれ、自分と形は違うけれども、みんなが「障害」「障害のある人」にアプロ一ちしようとしてここに来ているんだなと思いました。

ただ、今の私は障害のことを「気の毒」というよりも「わりと普通」のこととしてとらえているので、人の意見を聞くだけでなく、それを交換できたらよかったと思います。



7月3日の「ふれあい中里北部」で、車椅子・アイマスクを使っでの体験を行いました。又、実施しますから参加して下さい。

お集まり下さい

◎ ふれあい中里北部

毎月第一月曜日に開催しております。会場は鴨志田第一小学校コミュニティ・スクール研修室です。

老若男女は、問いません。どなたでも来て下さい。お話し合い・情報交換・教えたり・教わったり、色々なことをやりましょう。

尚、12月には「応急処置について」保健婦さんに教えていただく予定です。

◎ すこやかお食事会

10月6日・12月5日・2月2日に、おこないます。担当の民生委員さんから、お誘いがありますから、できるだけ参加して下さい。

◎ 健康ひろば

11月1日・8日・15日(水)の、3日間実施します。

会場は鴨志田第一小学校コミュニティ・スクール研修室です。

時間は、午前9時30分～12時
どうぞお誘い合わせてご参加下さい。(回覧を見て下さい)

申し込みは、次の電話まで

◆ 飯山 (962-8486)

◆ 佐藤 (961-5624)

発行 中里北部地区社会福祉協議会
編集 ” 広報部

山崎 正子・佐藤清子・大橋 素子(文責) (962-4625)

♥ ボランティアをやりません

ボランティア活動を、と考えている方、関心のある方、ご連絡下さい。
勉強を、研究をしましょう。そして、活動を始めませんか。

♥ 編集者募集

この社協だよりの編集をやってみようという方、ご連絡下さい。
お待ちしております。

☎ 962-4625 大橋まで

編集後記

♣ 今年の暑さ、よく凌いだと思います。雨が降らず神奈川は、8月中たった23mmの雨量とか。蟬がとても多かった。長い地中生活から出て来て、精一杯鳴き、1週間たらずで死ぬ。蟬の一生如何ですか。

♣ 戦後50年。あの惨めな時代を生きぬいてきた方達、今幸せなのだろうか？ 現代の若い人達も幸せなのだろうか？

幸せとはどういうものなんだろうな？ と思うことがあります。皆さんは如何ですか。

♣ 「うらを見せ おもてを見せて散るもみぢ」 良寛さんの歌です。

自然の偉大さ、紅葉は紅葉でもその時により変化を見せ、その生を美しく纏めている。たとえ枯葉になっても――。

精一杯生きる。悔いのない人生を送れる人は幸せだと思います。